

令和 7 年度 学習シラバス				整理番号		0103
教科	国語	科	科目	論理国語	単位数	2 単位
学年	2 学年	学科・コース等		普通科・機械電気科		

学習到達目標	
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。論理的・批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させる。	
使用教材	
教科書	新編論理国語（東京書籍）
補助教材	基礎現代文（尚文出版） 実践文字力トリプルチェック（尚文出版）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	実生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	論理的・批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価方法	定期考査・小テスト・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え・ 資格試験・ノートやワークシート の内容	定期考査・小テスト・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え・ 資格試験・ノートやワークシート の内容・自己評価	学習態度・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え・ ノートやワークシートの内容・ 自己評価

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	1 論理と出会う	論理的・非論理的の違いを考える。筆者は論理をどのようなものととらえているのかを読み解く。	○	○	○
	2 具体と抽象	文章中の具体例について、それぞれがどのようなことを説明するために挙げられているのかを考える。	○	○	○
二学期	3 対比をとらえる	対比関係を意識して表にまとめる。それを基に、筆者の主張を考察する。	○	○	○
	4 主張をつかむ	筆者の述べるキーワードの意味するところを説明する。それを基に、筆者の主張を考察する。	○	○	○
	5 論理的に書く	根拠を踏まえて主張を書くために、きちんと構成を考えた文章すするように努める。		○	○
三学期	6 統計資料を活用する	本文中の資料を活用し、気づいたことを話し合う。データのまとめ方によって、主張が変わることを理解する。	○	○	○
	7 比べて読む	人間と言葉や文化の関係が変化していると思う具体例を挙げ、古き良きものの行方について話し合う。	○	○	○

担当者からのメッセージ
自己の主張を相手に正確に伝えるためには、論理的な話し方が大切です。人間関係が円滑に進むように、しっかり身に付けましょう。

開 拓 精 神

鹿児島県立頤娃高等学校

令和 7 年度 学習シラバス				整理番号		0106
教科	国語	科	科目	古典探究	単位数	2 単位
学年	2 学年	学科・コース等		普通科		

学習到達目標	
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、古典を通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	
使用教材	
教科書	新編古典探究（東京書籍）
補助教材	基礎古典（尚文出版） 国語必携パーフェクト演習（尚文出版）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典を通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価方法	定期検査・小テスト・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え・ 資格試験・ノートやワークシート の内容	定期検査・小テスト・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え・ 資格試験・ノートやワークシート の内容・自己評価	学習態度・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え・ ノートやワークシートの内容・ 自己評価

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	1 説話に親しむ	登場人物の謎解きの様子を説明する。登場人物の考えを理解する。	○	○	○
	1 故事と小話	登場人物の関係性について話し合う。巧みな比喻によって、何が言いたい文章なのかを読み取る。	○	○	○
二学期	3 作り物語を読む	キーアイテムが登場人物にどのような変化をもたらしたかを考える。	○	○	○
	3 史記を読む	登場人物を敵味方に分けて整理する。 文中の漢詩に込められた心情を読み取る。	○	○	○
	5 日記を読む	作品の冒頭部分から何が分かるか考える。 文中の和歌に込められた心情を読み取る。	○	○	○
三学期	6 軍記物語を味わう	作品中の登場人物がどのように描かれているかをまとめる。 和漢混淆文を読み味わう。	○	○	○
	4 中国の知恵	故事成語の成り立ちと、現在使用されている意味を考える。	○	○	○

担当者からのメッセージ
古典作品はその時代に生きた人々の証です。先人のものの考え方や感じ方などを、自分に引き寄せて読み味わいましょう。

開 拓 精 神

鹿児島県立頤娃高等学校

令和	7	年度	学習シラバス	整理番号		0203
教科	地理歴史	科	科目	地理探究	単位数	2 単位
学年	2	学年	学科・コース等	普通科		

学習到達目標						
社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。						
使用教材						
教科書	地理探究（二宮書院） 基本地図帳（二宮書院）					
補助教材	新詳地理資料COMPLETE2025（帝国書院） 地理探究ワークブック（二宮書院）					

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解し、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多角的な考察を通して涵養される日本国民としての自覚、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。
評価方法	○ 確認テスト ○ 定期考査 ○ 作図・読取課題 ○ 観察評価・提出物	○ 確認テスト ○ 定期考査 ○ 作図・読取課題 ○ 観察評価・提出物	○ 確認テスト ○ 定期考査 ○ 作図・読取課題 ○ 観察評価・提出物

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	第Ⅰ編 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境 1 地形 2 気候と生態系 3 世界各地の自然と生活	・地形の分布や形成要因に関する基礎的知識を習得する。 ・地形図の読図に関する地理的技能を習得する。 ・地球規模でみた気温・降水量等に関する知識を習得する。 ・世界の気候区分の方法を理解する。 ・世界規模からみた植生・土壌の特色を理解する。 ・世界の気候帯の分布や形成要因に関する知識を習得する。	○	○	○
二学期	4 日本の自然環境と防災 5 地球環境問題 2章 資源と産業 1 農林水産業 2 資源・エネルギー	・日本の自然環境や自然災害について理解する。 ・環境問題に関する分布や形成要因を考察し基礎的知識を習得する。 ・世界の農業・林業・水産業に関する基礎的知識を習得する。 ・世界や日本の食料問題・課題について、世界的視野をもって、形成要因を考察する。 ・世界の資源・エネルギーに関する基礎的知識を習得する。	○	○	○
三学期	2 資源・エネルギー 3 工業	・世界や日本の資源・エネルギー問題について、世界的視野をもって、形成要因を考察する。 ・世界の工業の成り立ち・立地に関する知識を習得する。 ・グローバル化の中で世界と日本の工業に関して、世界的視野をもって、それらの動向・形成要因を考察する。	○	○	○

担当者からのメッセージ
・写真やグラフなどを活用し、多様な角度から地理的事象を捉えられるようにする。 ・それぞれの地理的事項に関して、常に理由や原因を探究する気持ちで授業に臨む。

開 拓 精 神

鹿児島県立頤娃高等学校

令和	7	年度	学習シラバス	整理番号		0207
教科	地理歴史	科	科目	日本史探究	単位数	2 単位
学年	2	学年	学科・コース等	普通科		

学習到達目標						
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。						
使用教材						
教科書	高校日本史（山川出版社）					
補助教材	新詳日本史（浜島書店） 新日本史研究ノート（啓隆社）					

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評価方法	- 定期考査、単元テストの結果 - 学習状況の観察 - 提出物の内容 - 学習成果の発表内容	- 定期考査、単元テストの結果 - 学習状況の観察 - 提出物の内容 - 学習成果の発表内容	- 出欠状況 - 学習態度 - 学習状況の観察 - 自己評価 - 提出物の内容と提出状況

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	第Ⅰ部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの	- 旧石器文化から縄文文化の時代の人びとの暮らしを考察する。 - 狩猟社会から農耕社会への変化に着目し、問いを表現する。 - 古墳文化の特徴を前期・中期・後期のそれぞれについて考察する。 - 推古朝の政治や外交について考察する。 - 律令制が日本の歴史に与えた影響について理解する。 - 奈良時代の政治の流れを理解し、その背景について考察する。 - 律令制度の建て直しと、その後の政治制度の変質について考察する。	○	○	○
	第2章 古墳とヤマト政権				
	第3章 律令国家の形成				
二学期	第4章 貴族政治の展開	- 藤原北家の勢力拡大や律令制支配の衰退と地方支配の仕組みの変質を考察する。 - 寄進地系荘園の成立など土地制度の変化や武士団の成長を考察する。 - 院政について、古代から中世への歴史の転換と関連づけて考察する。 - 平氏が保元・平治の乱を通じて勢力を拡大し、政権を獲得した過程を考察する。 - 鎌倉幕府の支配機構、将軍と御家人との主従関係、公武的二元支配構造などを理解する。 - モンゴル襲来の国際的な背景と幕府や朝廷の対応、その後の影響を理解する。	○	○	○
	第Ⅱ部 中世 第5章 院政と武士の進出				
	第6章 武家政権の成立				
三学期	第7章 武家社会の成長	- 室町幕府の成立と体制を理解し、一揆による幕府の動揺や下剋上の風潮、日本の伝統文化の原型が形成された室町期の文化的な特色について考察する。 - 戦国大名や都市、産業や流通の成長について考察する。 - 大航海時代の展開に関連させて、中世から近世への時代の転換を理解し、織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一の過程を把握する。	○	○	○
	第Ⅲ部 近世 第8章 近世の幕開け				

担当者からのメッセージ
- 資料（史料）を活用し、多様な角度から歴史的事象を捉えられるようにする。 - 歴史的事項に関して、探究する気持ちで授業に臨む。

開 拓 精 神

鹿児島県立額娃高等学校

令和	7	年度	学習シラバス	整理番号		0301
教科	公民	科	科目	公共	単位数	3 単位
学年	2	学年	学科・コース等	普通科		

学習到達目標	
人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。	
使用教材	
教科書	高等学校 新公共（第一学習社）
補助教材	学習事項の整理と問題 新公共ノート（第一学習社）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
評価方法	・定期考査、単元テストの結果 ・学習状況の観察 ・提出物の内容 ・学習成果の発表内容	・定期考査、単元テストの結果 ・学習状況の観察 ・提出物の内容 ・学習成果の発表内容	・出欠状況 ・学習態度 ・学習状況の観察 ・自己評価 ・提出物の内容と提出状況

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	第1編 公共の扉	・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などのさまざまな集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを学ぶ。 ・古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解する。 ・古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、公共的な空間における基本的原理を理解する。	○	○	○
	第1章 公共的な空間をつくる私たち				
	第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方				
	第3章 公共的な空間における基本的原理				
二学期	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち	・憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。 ・よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解する。 ・公正かつ自由な経済活動をおこなうことを通して資源の効率的な配分が図られることについて理解する。	○	○	○
	第1章 法的な主体となる私たち				
	第2章 政治的な主体となる私たち				
	第3章 経済的な主体となる私たち				
三学期	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。 ・持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体となることに向けて、幸福、正義、公正などに着目して、現代の諸課題を探究する活動を行う。	○	○	○

担当者からのメッセージ
・単なる知識獲得だけでなく、自分で積極的に考え、主体的に授業に取り組むことが大切である。 ・社会の一員としてどうあるべきかを常に意識する。

開 拓 精 神

鹿児島県立頤娃高等学校

令和 7 年度 学習シラバス				整理番号		0403
教科	数学	科	科目	数学Ⅱ	単位数	2 単位
学年	2 学年	学科・コース等		普通科		

学習到達目標	
方程式・式と証明，図形と方程式について基本的な知識や技能，数学的に考察する力，数学を活用しようとする態度を身に付ける。	
使用教材	
教科書	数学Ⅱ Standard（東京書籍）
補助教材	Standard Buddy WRITE 数学Ⅱ（東京書籍）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	- 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 - 事象を数学的に解釈したり，数学的に表現・処理している。	- 数学を活用して論理的に考えたり，統合的・発展的に考えている。 - 数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現している。	- 数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり，数学的論拠に基づいて判断している。 - 解決の過程を振り返って考えを深めたり，改善しようとしている。
評価方法	- 学習状況の観察 - ノートや演習プリントの記述 - 小テスト - 定期考査の結果	- 学習状況の観察 - ノートや演習プリントの記述 - 定期考査の結果	- 授業に参加する態度 - 学習状況の観察 - ノートや演習プリントの記述 - 提出物（宿題や課題プリント等）の取組内容および提出状況

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	1章 方程式・式と証明				
	1節 多項式・分数式の計算	・式の展開や因数分解，多項式の除法，分数式の四則計算をする。	○	○	○
	2節 2次方程式	・複素数の四則計算，二次方程式の解の種類の判別をする。			
二学期	3節 高次方程式	・因数定理を理解し，高次方程式の解を求める。	○	○	○
	4節 式と証明	・実数や等式，不等式の性質を基に，等式や不等式の証明をする。			
	2章 図形と方程式				
	1節 点と直線	・内分点，外分点の座標，二点間の距離，直線の方程式を表す。	○	○	○
三学期	2節 円	・円を方程式で表し，図形の性質や位置関係について考える。	○	○	○
	3節 軌跡と領域	・不等式の表す領域を求めたり，領域を不等式で表す。			

担当者からのメッセージ
- 授業に集中し，ペア活動やグループ活動を含め主体的に取り組みましょう！ - 基礎・基本をしっかり学習し，練習問題を自分の力で解く習慣をつけましょう！

開 拓 精 神

鹿児島県立頤娃高等学校

令和 7 年度 学習シラバス				整理番号		0408
教科	数学	科	科目	数学B	単位数	2 単位
学年	2 学年	学科・コース等		普通科		

学習到達目標	
数列，統計的な推測について基本的な知識や技能，数学的に考察する力，数学を活用しようとする態度を身に付ける。	
使用教材	
教科書	数学B Standard（東京書籍）
補助教材	Standard Buddy WRITE 数学B（東京書籍）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	- 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 - 事象を数学的に解釈したり，数学的に表現・処理している。	- 数学を活用して論理的に考えたり，統合的・発展的に考えている。 - 数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現している。	- 数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり，数学的論拠に基づいて判断している。 - 解決の過程を振り返って考えを深めたり，改善しようとしている。
評価方法	- 学習状況の観察 - ノートや演習プリントの記述 - 小テスト - 定期考査の結果	- 学習状況の観察 - ノートや演習プリントの記述 - 定期考査の結果	- 授業に参加する態度 - 学習状況の観察 - ノートや演習プリントの記述 - 提出物(宿題や課題プリント等)の取組内容および提出状況

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	1章 数列				
	1節 数列	・等差数列や等比数列を理解し，一般項や和を求める。	○	○	○
	2節 いろいろな数列	・いろいろな数列の一般項や和を求める方法を理解する。			
二学期	3節 漸化式と数学的帰納法	・漸化式を理解し，漸化式で表された数列の一般項を求める。	○	○	○
	2章 統計的な推測				
	1節 標本調査	・標本調査の考え方を理解する。	○	○	○
三学期	2節 確率分布	・確率変数の平均，分散，標準偏差などを用いて確率分布の特徴を考え，二項分布の性質や特徴を理解する。			
	3節 正規分布	・正規分布の性質や特徴について理解する。	○	○	○
	4節 統計的な推測	・正規分布を用いた区間推定および仮説検定の方法を理解する。			

担当者からのメッセージ
- 授業に集中し，ペア活動やグループ活動を含め主体的に取り組みましょう！ - 基礎・基本をしっかりと学習し，練習問題を自分の力で解く習慣をつけましょう！

開 拓 精 神

鹿児島県立頤娃高等学校

7 年度 学習シラバス					整理番号		0503		
教科	理 科		科目	物理基礎		単位数	2	単位	
学年	2 学年		学科・コース等		普通科				
学習到達目標									
実験，観察で基本的な概念や原理，法則の理解を深める。自然に対する関心や探求心を高め，科学的な自然観を育成する。									
使用教材									
教科書		高等学校 新物理基礎 （第一学習社）							
補助教材		新課程版 ネオパルノート物理基礎（第一学習社）							
目指す力と評価									
	a. 知識および技能			b. 思考力・判断力・表現力			c. 主体的に学習する態度		
評価の観点	物体の運動と様々なエネルギーについて，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。物体の運動と様々なエネルギーに関する観察，実験などを行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身に付けている。			物体の運動と様々なエネルギーに関する事物・現象の中に問題を見だし，探求する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。			日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーについて関心をもち，意欲的に探求しようとするとともに，科学的な見方や考え方を身に付けている。		
評価方法	発問評価 定期考査 レポート			発問評価 定期考査 レポート			授業態度 発問評価 レポート		
年間学習計画									
学期	単元		学習内容および到達目標				評価の観点		
							a	b	c
一学期	第1章 物体の運動 1節 運動の表し方 2節 力 3節 運動の法則 第2章 1節 運動とエネルギー		運動の様子を表すことができるようになる。 物体にはたらく様々な力をベクトルで表せるようになる。 運動の法則を利用し，運動の解析ができるようになる。 力学的エネルギー保存の法則について理解を深め，これを用いていろいろな運動を分析できるようになる。				○	○	○
二学期	2節 熱とエネルギー 第3章 波 1節 波の性質 2節 音 第4章 電気 1節 電流		熱まで含めたエネルギー保存則を理解する。 身の回りの波動現象について観察・実験を通して反射・屈折・回折を理解する。 音の性質を理解する。 静電気発生の原理を実験・観察を通して理解する。				○	○	○
三学期	2節 電気の利用 第5章 人間と物理 1節 エネルギーとその利用 2節 物理学が拓く世界		人間生活と電気との関わりを学習する。 様々なエネルギーの特性やその利用について，物理的視点から理解する。 近い将来に直面するであろうエネルギー問題について関心を持つ。				○	○	○
担当者からのメッセージ									
日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち，その法則性について考える態度をもちましょう。学んだことを正確に記録する方法と態度を身につけましょう。									

開 拓 精 神

鹿児島県立頤娃高等学校

令和 7 年度 学習シラバス		整理番号		0506	
教科	理 科	科目	生物基礎	単位数	2 単位
学年	2 学年	学科・コース等	普通科		
学習到達目標					
生物や生物現象についての観察，実験などを行い，自然に対する関心や探求心を深め，生物学的に探究する能力と態度を持つとともに基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な自然観を身につける。					
使用教材					
教科書	高等学校新生物基礎（第一学習社）				
補助教材	新課程版 プログレス生物基礎(第一学習社)				
目指す力と評価					
評価の観点	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度		
	生物や生物現象について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。生物や生物現象に関する観察，実験などを行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見だし，探求する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心をもち，意欲的に探求しようとするとともに，生物の共通性と多様性を意識するなど，科学的な見方や考え方を身に付けている。		
評価方法	発問評価 定期考査 レポート	発問評価 定期考査 レポート	授業態度 発問評価 レポート		
年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	第1章 生物の特徴	細胞が構造上の単位だけでなく，機能上の単位でもあることを細胞小器官のはたらきを通して学習する。	○	○	○
	第2章 遺伝子とその働き	生物体内で行われる代謝や酵素反応について学び，同化や異化に関する科学的理解へとつなげる。	○	○	○
		遺伝子の本体DNAの構造について学び，遺伝情報の伝達のしくみについて理解する。	○	○	○
		DNAの遺伝情報がタンパク質の合成へと転写・翻訳されていくしくみについて理解する。	○	○	○
二学期	第3章 ヒトのからだの調節	多細胞動物の内部環境の維持機構（恒常性）について理解する。	○	○	○
		中枢神経と抹消神経の役割やその働きについて理解する。	○	○	○
		恒常性における自律神経とホルモンの役割について理解する。	○	○	○
		体液性免疫と細胞性免疫のしくみと役割について理解する。	○	○	○
三学期	第4章 生物の多様性と生態系	植生の成り立ちについて学び，遷移と極相状態へとつなげる。	○	○	○
		生態系における物質循環とエネルギーの流れについて理解を深める。	○	○	○
		生態系のバランスについて学び，人間活動が果たす役割を思考する。	○	○	○
担当者からのメッセージ					
日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち，その法則性について考える態度をもちましょう。学んだことを正確に記録する方法と態度を身につけましょう。					

開 拓 精 神

鹿児島県立頤娃高等学校

令和 7 年度 学習シラバス					整理番号	0602
教科	保健体育	科	科目	体育	単位数	2 単位
学年	2 学年	学科・コース等		普通科・機械電気科		

学習到達目標	
○体づくり運動・・・自己の体力に応じて、体ほぐしを行い、体力を高めることができる。 ○球技・・・各球技に必要な技術の獲得、個々の能力に応じた課題解決を目指して計画的に練習に取り組む能力を身につける。 ○陸上競技・・・自己の体力に応じたペースで走る能力を身につける。 ○体育理論・・・各項目においてどのような位置づけや内容があるかを理解できる。	
使用教材	
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）
補助教材	ステップアップ高校スポーツ2024（大修館書店） 現代高等保健体育ノート（大修館書店）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	○運動の合理的、計画的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身につけている。	○自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて課題に応じた運動の取り組み方や、目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫していると同時に、それらを他者に伝えている。	○運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。
評価方法	・授業への取り組み姿勢 ・スキルテスト・小テスト ・学習カードの記入	・授業への取り組み姿勢 ・ワークや実技の状況 ・学習カードの記入	・授業への取り組み姿勢 ・学習カードの記入 ・自己評価

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	体づくり運動	・自分の心身の状態に気づき、仲間と自主的に関わり合う。 ・体力の向上を図るための運動の計画を立てて取り組む。	○	○	○
	体育理論		○	○	○
	選択Ⅰ 球技 (バレーボール、ソフトテニス ソフトボール)	・個人的技能、集団的技能を習得する。 ・個人的技能、集団的技能を活用し、チームにあった作戦を立て、守りから攻撃への連携を生かしたゲームができる。	○	○	○
	選択Ⅱ 球技 (サッカー、ソフトボール ソフトテニス)	・個人的技能、集団的技能を習得する。 ・個人的技能、集団的技能を活用し、チームにあった作戦を立て、守りから攻撃への連携を生かしたゲームができる。	○	○	○
二学期	陸上競技 短距離・リレー	・中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることができる。 ・バトンの受け渡しで次走者のスピードを十分高めることができる。	○	○	○
	陸上競技・長距離走	・目標タイムに応じたペースで走ることができる。	○	○	○
	体育理論		○	○	○
	選択Ⅲ 球技 (バスケットボール、バドミントン バレーボール)	・個人的技能、集団的技能を習得する。 ・個人的技能、集団的技能を活用し、チームにあった作戦を立て、守りから攻撃への連携を生かしたゲームができる。	○	○	○
三学期	体育理論		○	○	○

担当者からのメッセージ
自分の選択した競技に積極的に取り組みましょう。

開 招 精 神

鹿児島県立頤娃高等学校

令和 7 年度 学習シラバス				整理番号	0605
教科	保健体育 科	科目	保健	単位数	1 単位
学年	2 学年	学科・コース等	普通科・機械電気科		

学習到達目標	
保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次の通り育成する。	
使用教材	
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）
補助教材	現代高等保健体育ノート（大修館書店）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。
評価方法	・授業への取り組む姿勢 ・ノートの点検	・授業への取り組む姿勢 ・ワークの状況 ・ノートの点検	・授業への取り組む姿勢 ・自己評価

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	3 単元 生涯を通じる健康 ・ライフステージと健康 ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ・妊娠、出産と健康 ・避妊法と人工妊娠中絶 ・結婚生活と健康	思春期から中高年期までに出会う様々な健康問題について学ぶとともに、労働と健康との関係や、働く人々の健康が保持増進されるしくみなどについて理解を深める。	○	○	○
二学期	・中高年期と健康 ・働くことと健康 ・労働災害と健康 ・健康的な職業生活 4 単元 健康を支える環境づくり ・大気汚染と健康 ・水質汚濁、土壌汚染と健康	思春期から中高年期までに出会う様々な健康問題について学ぶとともに、労働と健康との関係や、働く人々の健康が保持増進されるしくみなどについて理解を深める。 環境・食品と健康との関係を学ぶとともに、社会全体の健康を高めるために、私たち 1 人ひとりが環境づくりに積極的に参加する意義や方法について理解を深める。	○	○	○
三学期	・環境と健康にかかわる対策 ・ごみの処理と上下水道の整備 ・食品の安全性、食品衛生 ・保健サービスと医療サービス ・医薬品の制度 ・保健活動や社会的対策 ・健康に関する環境づくり と社会参加	環境・食品と健康との関係を学ぶとともに、社会全体の健康を高めるために、私たち 1 人ひとりが環境づくりに積極的に参加する意義や方法について理解を深める。	○	○	○

担当者からのメッセージ
生涯にわたって役立つ知識を身につけよう。

開 拓 精 神

鹿児島県立頤娃高等学校

令和 7 年度 学習シラバス				整理番号		0702
教科	芸 術 科	科目	音楽Ⅱ	単位数	2	単位
学年	2 学年	学科・コース等	普通科 音楽選択者			

学習到達目標	
①歌唱、器楽、創作の諸活動をおこない、より深く追求することで音楽を愛好する心情を育成する。 ②自己の感じ取ったイメージを様々な形で表現し、様々な演奏について独自の観点を持って鑑賞できる。 ③我が国や諸外国の音楽を学習し、それぞれの音楽文化の特性や良さを感じ、多様な音楽観の育成をはかる。	
使用教材	
教科書	MOUSA 2（教育芸術社）
補助教材	Music Note（啓隆社） 各種プリント等

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	○曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音の多様性について理解している。 ○自己のイメージを持ち、創造的な表現をするための技能を身に付けている。	○音楽表現の要素や要素同士の関 連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価 しながらよさや美しさ自ら味わって聴いたりしている。	○音楽を愛好し、音や音楽に関心を持ち、意欲的・主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わおうとする。
評価方法	・学習状況の観察 ・探求活動の表現 ・作品演奏としての実技試験	・学習状況の観察 ・実技を伴う歌唱、器楽の実技	・授業に取り組む態度 ・探求活動の表現 ・作品演奏としての実技試験

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	○声を重ねて ○鑑賞①〈オペラ、ミュージカル〉 ○創作〈わらべ唄、グループ作品〉 ○発表会〈創作作品〉	○正しい姿勢や発声法を身につけ、表情豊かに表現する。 ○作品の内容や特徴を理解する作品について自分の意見を発表する。 ○楽譜が書けるようになり、簡単な旋律をつくる。 ○創作作品を発表するとともに、他の人の作品を鑑賞する。	○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
二学期	○器楽〈ギター、キーボード、和楽器〉 ○鑑賞〈音楽史の変遷〉 ○アンサンブルの楽しみ	○基本的な奏法を身につけ、楽曲の演奏や鑑賞をする。 ○楽器の奏法や音色の特徴、良さを理解する。 ○音楽史の変遷を理解し、鑑賞した楽曲についてグループでまとめる。 ○作品について自分の意見を発表する。 ○アンサンブルの魅力を味わう。 ○楽器の特性やパートの融合とバランスについて理解する。 ○楽曲の特徴や効果的な奏法を理解し、表現や鑑賞する。	○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
三学期	○発表会	○演奏形態や楽曲を決定する。 ○コンサートに向けての準備や練習を計画的におこなう。 ○選択した楽曲を演奏する。 ○鑑賞マナーについて考え、他の人やグループの演奏を鑑賞する。	○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
			○	○	○

担当者からのメッセージ
音楽への愛や音楽によって人間を高めていくこと、音楽の持つ力や素晴らしさを知る。

開 拓 精 神

鹿児島県立頤娃高等学校

令和 7 年度 学習シラバス				整理番号		0704
教科	芸 術 科	科目	美術Ⅱ	単位数	2	単位
学年	2 学年	学科・コース等	普通科 美術選択者			

学習到達目標	
○一年次に培った基礎的な知識と技能を基盤として、様々な要素の組み合わせさせた表現を行うとともに、自己の内面を追求する作品制作を行う。 ○ものをつくる楽しさ、表現を追求することの面白さ、また作品の内容を深く味わい、他者の個性を尊重することの大切さを学び、美術作品と美術を通したコミュニケーションに対する関心を更に深め、愛好する態度を養う。	
使用教材	
教科書	高校生の美術2（日本文教出版）
補助教材	自作プリント等

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	○対象や事象を捉える造形的な点について理解を深めている。 ○創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	○造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫し、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想 や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている	○美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。
評価方法	授業に取り組む態度 学習状況の観察 提出状況 探究活動の表現	学習状況の観察 探究活動の表現 個性を生かした表現	学習状況の観察 探究活動の表現 個性を生かした表現

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	○風景を描く（油彩）	○印象深い風景を選択し、構図を考慮して画面に取り入れる。 ○油彩画の技法を生かし、イメージに合う色やタッチを工夫する。	○	○	○
			○	○	○
二学期	○オリジナルTシャツをつくる ○自画像を描く（鉛筆デッサン）	○イメージに合ったTシャツのデザインや配色を考える。 ○ステンシルの技法を習得する。 ○オリジナルデザインのTシャツを完成させる。 ○鏡を見ながら、鉛筆を使って自分の顔を描く。 ○鉛筆で濃淡をつけ、外面のみならず自己の内面を表現する。	○	○	○
			○	○	○
三学期	○自画像を描く（油彩）	○自己のイメージに合ったポーズや表情を考える。 ○油彩画の技法を生かし、イメージに合う色やタッチを工夫する。 ○今の自分の思いや感情等も表現できるよう工夫する。	○	○	○
			○	○	○

担当者からのメッセージ
色や形を使って、自己のイメージをより深く追求しながら創造しよう。

開 拓 精 神

鹿児島県立頤娃高等学校

令和 7 年度 学習シラバス				整理番号		0706
教科	芸 術 科	科目	書道Ⅱ	単位数	2	単位
学年	2 学年	学科・コース等	普通科 書道選択者			

学習到達目標	
①書道の創造的な諸活動を通して、書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書の文化や伝統についての理解を深め個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばす。 ②書の歴史や文化への理解を深め、書道Ⅰで培った表現と鑑賞の基礎的能力をさらに伸ばし、意欲的かつ主体的な学習や問題解決能力を高める。 ③「漢字」「仮名」「漢字仮名交じり」の活動をととして個性を生かした創造的な書の表現及び古典の鑑賞の能力を高める。	
使用教材	
教科書	書Ⅱ（光村出版）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	○日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わう。 ○創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	○書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	○書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。
評価方法	・学習状況の観察 ・作品等の提出状況や内容 ・小テスト	・学習状況の観察 ・提出作品の内容 ・制作活動の観察、発表	・授業に取り組む態度 ・学習状況や制作活動の観察 ・作品等の提出状況や内容

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	○漢字の書の学習(1) ○硬筆 ○漢字の書の学習(2)	○篆書の古典を学ぶ。 ○漢字と平仮名の調和を考えながら硬筆を書く。 ○隷書の古典を学ぶ。 ○草書の古典を学ぶ。	○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
二学期	○漢字の書の学習(3)	○行書の古典を学ぶ。 ○楷書の古典を学ぶ。 ○表現の工夫をしながら創作する。 ○半切・半切（三分の一・二分の一）から選び揮ごうする。 ○掛け軸の表装の基礎を知り、技能を習得する。	○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
			○		○
三学期	○仮名の書の学習 ○漢字仮名交じりの書	○仮名の古典を学び、仮名の書の創作をする。 ○古典を創作に生かす。 ○参考例より多様な表現方法を知る。 ○漢字と仮名の調和を考えながら創作する。	○	○	○
			○	○	○
			○		○
			○	○	○

担当者からのメッセージ
書道Ⅰで学んだ技法を発展させて、さらに表現の幅を広げよう。

開 拓 精 神

鹿児島県立頤娃高等学校

令和	7	年度	学習シラバス	整理番号		0802
教科	外国語	科	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4 単位
学年	2	学年	学科・コース等	普通科		

学習到達目標	
日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、場面や状況に即して英語で話したり、書いて表現したりする力をさらに伸ばす。日々の学習を通じて言語の背景にある文化や価値観について理解をいっそう深め、自己と他者（異文化）を尊重し、共生する態度を涵養する。	
使用教材	
教科書	CIMET English Communication Ⅱ（数研出版）
補助教材	ベーシックジーニアス英和辞典 第2版（大修館） COMET English Communication Ⅱ ベーシックノート（数研出版） COMET 基本英文法定着ドリル2（数研出版）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる。	日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。	主体的、自律的に英語を使い、コミュニケーション能力を身につけようとするとともに、自己と他者（異文化）を尊重し、共生する態度を身につけている。基本的な学習方法を身につけ、日々の学習に活用することができる。
評価方法	授業における取り組みや小テスト、単元テスト、定期考査等	各単元や授業における各種活動の成果やパフォーマンステスト、単元テスト、定期考査等	授業や単元の活動に取り組む姿勢や課題等の提出状況等

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	英語の語順の復習	英語の基本語順について、復習し、修飾語句を加えてより長い英文を言ったり話したりすることができる。	○	○	○
	タブレット端末の活用	タブレット端末を使用して、検索機能やGoogle Classroomの基本的な使い方を理解する。Eメールに課題英作文のデータなどを添付して送信したり、教科書付属の音声データを活用して日頃の学習に活かすことができる。	○	○	○
二学期	アイデア・コンテスト	「仮定法」や「関係代名詞」について学習し、これらを活用して、日常生活をよりよくするためのアイデアを英語で発表する。	○	○	○
	英検を活用したスピーキング練習	英検準2級の2次試験問題を活用して、スピーキング活動を行い、場面や状況に即した表現を身につける。	○	○	○
三学期	環境に関するプレゼンテーション	環境問題に関するスライドと英文原稿を作成し、グループで協力して発表する。発表後は英語で相互にQ and Aを行い、即興で応答する力を伸ばす。	○	○	○

担当者からのメッセージ
授業で学んだことを日々の自分の学習に活かすように心がけましょう。言語学習は継続が不可欠です。「少しずつ」を「毎日」続けることが上達につながります。

開 拓 精 神

鹿児島県立頤娃高等学校

令和 7 年度 学習シラバス				整理番号		0902
教科	家庭 科	科目	家庭総合	単位数	2	単位
学年	2 学年	学科・コース等	普通科			

学習到達目標	
1	少子化社会における子育ての重要性を認識し、親になることの責任や子どもの人権と福祉について学ぶことにより、次世代を育てていくことが親や社会の役割であることを認識する。
2	食生活における生活の営みのプロセスを科学的視点よりとらえ、実習を通じて実践的・体験的に学び、食事の役割や身体の健康を生理的・精神的・社会的側面からとらえる。
3	自分らしい住空間を設計し、快適に住まうための維持・管理について知識や技術を育成する。
4	高齢者の身体的・心理的特徴を知り、家庭や地域社会の役割について考え、社会保障についても考える。
使用教材	
教科書	家庭総合 自立・共生・創造 (東京書籍)

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	・子どもや高齢者と福祉、食生活、住生活について関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	・子どもや高齢者と福祉、食生活、住生活について、その充実向上を目指して課題を見いだし、解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	・子どもや高齢者と福祉、食生活、住生活に関する技術を総合的に身につけている。
評価方法	・授業に取り組む態度 ・学習状況の観察 ・ノートやワークシートの記述 ・プリント等の内容・提出状況	・学習状況の観察 ・ノートやワークシートの記述 ・定期考査の結果	・学習状況の観察 ・ノートやワークシートの記述 ・定期考査の結果

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	・家庭科を学ぶにあたって ・第2章 子どもと共に育つ ・ホームプロジェクト	・昨年度の学習を確認する ・乳幼児期の保育が人の成長に与える影響に気づく。 ・妊産婦の健康管理とともに家族の協力の重要性に気づく。 ・子どもの特性、人権や福祉を理解し、よりよい環境について考える。 ・課題解決学習(暮らしの中に課題を見つけて解決する学習)	○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
二学期	・第6章 食生活をつくる	・食生活の課題について理解し、食べることの意義を考える。 ・栄養と食品について理解する。 ・基本的な調理技術を身につける。 ・調理の手順を考え、実践的な調理ができるようにする。 ・生涯を健康に過ごすために必要な知識を身につける。 ・地域につたわる郷土食や行事食を理解する。	○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
三学期	・第8章 住生活をつくる ・第3章 高齢社会を生きる	・平面図を読み取ることができ、住要求にあった空間づくりができるようになる。 ・快適で健康的な住まい方や安全に配慮した住まいのあり方を知り、これからの住生活に防災面や健康面の意識を持つことができる。 ・高齢者の心身の特徴と生活について学び、理解する。 ・これからの高齢社会について課題や改善策等を考えることができる。	○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
			○	○	○

担当者からのメッセージ
日常生活の中の家庭分野興味をもち、課題を見つけ、その課題を解決するための知識や技術を習得する態度を身につけましょう。学んだことを実際の生活の中で生かしていきましょう。

開 拓 精 神